

令和二年度 奈良県知事賞

「税金の大切さ」

大淀町立大淀中学校 二年 植村 美音

私の年代にとって税とは遠い所の話だと思っていましたが私達の身近な税には消費税がありました。私を買った文房具やお菓子の一つ一つに税がついていて、その税金が私が生活している中で出すゴミの処理に使われていたり、病院の医療費等に使用されていたり、私の通う学校にも税金が使われているとの事です。その税もお父さんやお母さんが働いた給料からも出ていると知りました。この税の使い方は選挙で選ばれた政治家が会議をして決めているとの事です。まだ中学生の私達には、選挙権はありませんがこの選挙も税金の使い方には大切な事なんだと思いました。大切なお金を大切に使うのはあたり前のことですが、税のむだ使いはあってはならない事だと思いました。この一人一人が納めた税によって助かる人達がたくさんいるのだと思いました。この人のために使うことのできる税は、たくさん種類がありました。お酒を飲むだけで税があったり、家にあたり前にある交通手段である自動車にもありました。この税が私の生活の一つ一つに役だっているのだと思いました。そのお金も奈良県内で使うと奈良県の収入になって私達の生活がさらに盛り上がるのだと思いました。県内で買い物をするという事は私達やその未来にとって住みやすい郷土を作るのだと思いました。

私の父は建設業で働いています。奈良県の工事を行っている時の話を聞くと、工事の細かな所まで確認を行い、そのつど書類を作っているとの事です。その工事はもちろん税金で行われている工事の為、税金できちんと工事が行われているのかを確認する為にいろいろな書類をつくっているとの事でした。その工事の完成した時には工事の検査があって作った書類と工事を十分にできているのかを確認する検査が一日あるとの事です。県民の一人一人が納めた税金で十分な工事が行われたかを確認する為の事だそうです。その検査はとても大切なんだと思いました。

この二〇二〇年のコロナ禍の中で沢山の税金が使われました。私達の一番の身近なものにはマスクが届きました。マスクが薬局等からなくなったときには早く届いてほしいと思いましたが、私の家に届いたのは意外に遅くて緊急事態宣言も終わった後でしたが、コロナもまだまだ終わらないのでこのマスクも大切に使用したいと思いました。

私達もいつかは仕事をする事になります。その時も税金を大切に使用してほしいと思います。その為にも選挙にも行ってきちんと税金を使ってくれる政治家を選びたいと思いました。